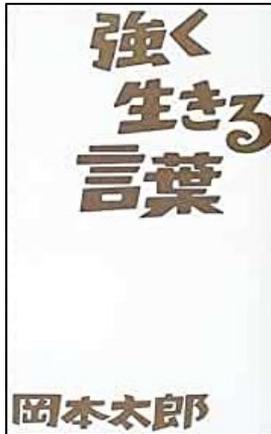


## 『強く生きる言葉』

岡本 太郎／著 岡本 敏子／構成・監修  
イースト・プレス



岡本太郎が日常生活の中で何気なく漏らすユニークな言葉。聞き逃してはもったいないと、パートナーの岡本敏子がメモをとり続け、数冊の本にまとめました。強く、鋭く、時に吹き出しそうになる太郎節の数々は、あなたに勇気を与えてくれることでしょう。

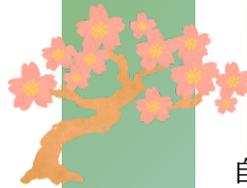
## 『春を背負って』

笹本 稜平／著 文藝春秋



奥秩父の山小屋を舞台に、登場人物に訪れたさまざまな人生の転機を描いた物語。仕事の行き詰まり、多額の債務、離婚、病気、親の死。苦難を乗り越え新たな一步を踏み出した人々の生き方には、山が纏う澄んだ空気と相まって明るく爽やかな希望の光が見えます。

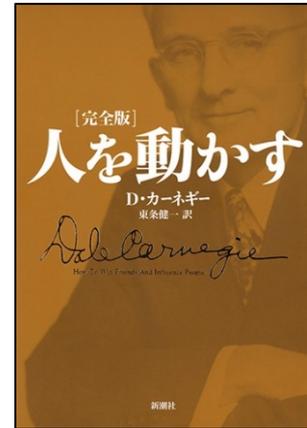
# 門出



入学や卒業、就職など、一年の節目にあたる季節がやってきました。暖かい日差しの中、自信や希望をもって前へ進んでいけるよう、「門出」にちなんだ本を紹介します。

## 『人を動かす』 完全版

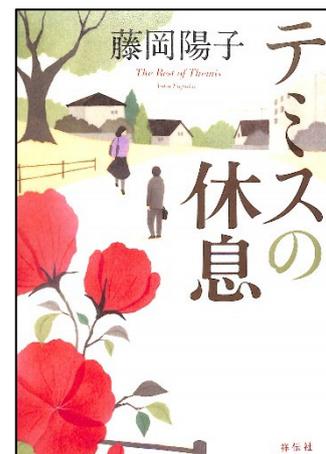
D.カーネギー／著 東条 健一／訳  
新潮社



出版から80年を経た現在も読み継がれており、自己啓発書の元祖と目される名著です。「人の立場に身をおく」など、ごく当たり前の言葉には真実があり、職場や、家族、友人などあらゆる人間関係で身につけるべき基本を教えてください。初心にかえる1冊として、新しい一步を踏み出す方へ贈ります。

## 『テミスの休息』

藤岡 陽子／著 祥伝社



小さな法律事務所を舞台にした連作短編集。弁護士芳川有仁と彼を支える事務員の沢井涼子を中心に、人生の岐路に立つ人々が芳川と出会い、新たなスタートラインに立つまでが描かれています。様々な出会いを経て、芳川自身も大きな門出を迎えます。



今年、国宝・重要文化財級の歴史資料を数多く見出した古書業界の重鎮、長岡市出身の反町茂雄氏の生誕120年・没後30年にあたります。この節目の年に、文書資料室では長岡市史双書No.60『古書肆弘文荘・反町茂雄と長岡』『反町茂雄文庫目録』第2集(補遺)』を発売します。

反町氏は、明治34年(1901)8月に現在の長岡市神田町3丁目に生まれました。10歳で上京し、昭和2年(1927)に東京帝国大学を卒業しました。その後、東京神田の古書店・一誠堂書店に勤務し、昭和7年に独立、店舗を構えず目録販売を主とする古書店・弘文荘を開業しました。

東京古書籍商業組合連合会副理事長、全国古書籍商業組合連合会専務理事、東京古典会会長、明治古典会会長などの要職を歴任し、平成3年(1991)9月に亡くなるまで、半世紀以上にわたり、日本の古書業界を牽引しました。

反町氏は郷里長岡に合計3,000万円を寄附するとともに、多くの貴重資料・郷土資料を寄贈しました。これら

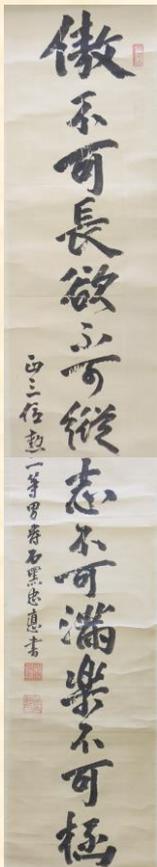
のうち、掛軸・錦絵・刊本や古文書などは、『反町茂雄文庫目録』第1集(平成6年)・第2集(平成7年)にまとめて紹介されています。

本市史双書は主に3つのトピックスからなります。1つ目は、『反町茂雄文庫目録』で掲載することができなかった郷土資料の中から、古文書を中心に目録(補遺)として紹介します。2つ目は、多数の反町氏の著作から本市とゆかりのあるものを紹介し、反町氏と長岡との関係を探ります。3つ目は、歴代図書館長と交わされた書簡を一部紹介し、本市の郷土資料の充実に寄与した足跡をたどります。

本書をとおして、本市との関わりを中心に反町茂雄氏の業績を振り返り、郷里長岡に対する反町氏の想いを皆様にお届けできれば幸いです。(安達良平)

※ 4月下旬頒布予定。長岡市史双書No.60は、文書資料室・中央図書館・市役所なんでも窓口(アオーレ長岡東棟1階)で購入できます。(頒布価格1,500円)

## 中央図書館所蔵資料紹介 No.168 石黒忠恵 書 没後80年



正三位勲一等男爵石黒忠恵書

傲不可長 欲不可縱 志不可滿 樂不可極

四つの「<sup>べからず</sup>不可」とは？

- 一つ おごりたかぶってはいけない
- 一つ 欲望はほしいままにしてはいけない
- 一つ 志(要求)は適度にとどめなければいけない
- 一つ 楽しみは極めてはいけない

これは、儒学の古典『礼記』中の「曲礼篇」に収められている教えて、礼の精神や意義を説くものです。この前段には、「常に敬いの態度を保ち、穏やかな話し方をすれば人心は落ち着き信頼を得ることができる」という、リーダーのための指針となるような言葉が表されています。

石黒(1845～1941)は陸奥(福島県)に生まれ、江戸に移ってから10歳で父を亡くします。14歳で片貝村(小千谷市片貝町)の父の生家石黒家を継ぎ、19歳で医学を学ぶことを決意、上京して西洋医学を修めました。その後、松本良順の強い薦めにより、軍医制度の充実をはかるため職務に就きます。軍医として経験を積み、軍医総監に就任。日本赤十字社の設立と発展にも寄与しました。また石黒は後進の指導に力を注ぎ、人材育成にもつとめたのです。

長岡の書家・中沢雪城に手ほどきを受けた石黒の書幅は、長さ2メートルを超えています。(小熊よしみ)

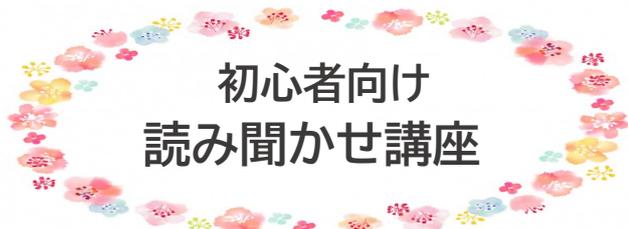
☆4月1日(木)～4月29日(木)中央図書館エントランスギャラリーで展示します。

イベントにおける新型コロナウイルス対応

- ・開催にあたっては、新型コロナウイルスの感染防止対策を行いますのでご協力をお願いいたします。
- ・感染拡大防止のため、状況により中止または延期、内容を変更する場合があります。ご了承ください。



長岡市子ども読書活動推進計画関連講座



初心者向け  
読み聞かせ講座

今春から図書館や小学校などで読み聞かせボランティアを始めた方に向けて、絵本の選び方や、読み方などのちょっとしたコツをお話します。

ぜひご参加ください。

- ❖日 時：5月23日(日)午前10時～11時30分
- ❖講 師：高橋 啓美(当館司書)
- ❖会 場：中央図書館2階 講座室1
- ❖定 員：15名(先着順・要申込み)
- ❖対 象：読み聞かせに興味のある方
- ❖申込み：5月11日(火)午前9時30分から  
中央図書館窓口・電話にて受付  
※休館日を除く

「長岡市子ども読書活動推進計画」について

長岡市では、平成25年4月に当計画を策定し、5年間に渡って様々な取り組みを行ってきました。

第二次計画(平成30年度～令和4年度)では第一次計画の成果や課題等を踏まえ、引き続き子どもたちに読書の楽しさを伝え、さらなる読書習慣の向上につながるよう、様々な施策を実施していきます。

長岡市子ども読書活動推進計画



～ずっとかたわらに本のある暮らしを～



映画会

中央図書館2階講堂  
入場無料・申込み不要 定員180人先着  
開場は上映開始時間の30分前です。



4/13(火) **ビバ! マリア**  
14:00～16:05 1965年/フランス・イタリア  
(コメディ・117分)

こどもの読書週間映画会

4/25(日) **ぼくは王さま**  
**しゃぼんだまとにちようび**  
14:00～15:00 2013年/日本  
(アニメーション・55分)

5/12(水) **台北の朝、僕は恋をする**  
14:00～15:30 2010年/台湾・アメリカ  
(ラブストーリー・85分)

5/29(土) **バルカン超特急**  
14:00～15:40 1938年/イギリス  
(ミステリー・94分)

6/11(金) **ならず者**  
14:00～16:05 1943年/アメリカ  
(西部劇・117分)

6/19(土) **花蓮**  
14:00～15:45 2015年/日本  
(ラブストーリー・96分)



市内企業の社史、パンフレットを集めています。

- ・蔵書として登録し、閲覧や貸し出しを行います。
- ・市内に本社、支社、事業所などがある会社が対象です。
- ・中央図書館宛てに各2部郵送でお送りください。

